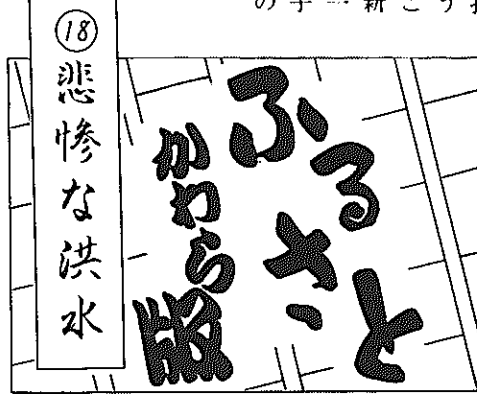


# 明治29年の大洪水

古くから水に苦しめられた白根郷。洪水の記録は数え切れませんが、人々の具体的な記述となると、残されたものはあまり多くありません。その中で、洪水の様子がよく伝えられているのが明治二十九年の大洪水です。八月十二日、午後八時三十分ごろ、新飯田、館の回り土手が破裂して濁流が郷内に侵入しました。このため土俵五千俵を投入。さらにくいを打ち込み、ようやく流入を阻止したのです。この破壊は、白根郷だけでなく新潟平野を水浸しとしました。市十五郡が水浸しとなった様子を「小吉郷洪水くどき」は次のように歌っています。

歌っています。  
茄子や豆など何れも腐れ  
胡瓜南瓜は蔓皆枯れた  
瓜も西瓜も喰うこと出来ず  
稲も枯れては米価は高く  
味噌を損じて塩のみなめる  
箆筋長持流れてしま  
鍋や釜など皆打ち沈み  
臼や桶類残らず失せて  
藪置もぬれたる故に  
夜着や布団も臭きは臭し  
(同二四五ページ)



また、いかに流されていく親子の悲哀を歌った「流れの親子くどき」も、この大洪水の悲惨な様子を伝えたものです。妻は気狂狂巻いたし  
水より首出し泣ては叫ぶ  
お三ふくれて仰け死んだ  
妹死んでも袂にすがり  
権助柱に撃たれて弱る  
娘流れて松枝にかり  
若い男は並木にかり



よくよく死骸はそろそろ浮て  
助け呼ぶ声各処に聞え  
あわれ愁やなげきは尽きず  
家財色々漂い来たり  
舟や材木家などまでも  
意気込進みて下へと流る  
見れば漫々河面広く  
眼界泣々魂消ゆる  
胸はどきどき手足はふるえ  
歯並がたがた片時やまず  
腹はへれども胸元つかえ  
喉は乾けど水をも呑めず  
泣いて居れども涙はいてず  
(同二四七ページ)

ここに掲載したのはごく一部ですが、このくどきからは、流れ行く親子を助けようにも助けられない悲痛な叫びが聞こえてくるようです。これらはいずれも洪水の苦しき、悲しさを庶民の声として歌い継いだものです。また、くどきは洪水の恐ろしさを忘れてはならぬという戒めでもあったのです。

白根市史七巻、好評発売中。申し込み、問い合わせは教育委員会社会教育課(☎373・3171)へ。

## 昔は登山、今はゴルフ 護摩堂山

語る人 河内芳一さん (上八枚・四下歳)

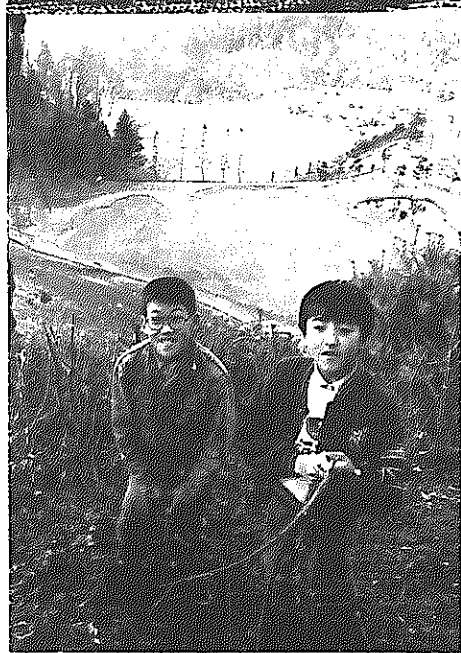


私の部落の堤防が上がると、真正面に護摩堂山が見えます。昔から手軽に登れる山として、学校の遠足をはじめ、休みになるとよく登った記憶があります。また、子供が小学生のころです。から五、六年前になると思いますが、暇があるとよく一緒に登ったものです。

登山口付近からは、田上のゴルフ場がよく見えます。その当時は、金網越しにプレーしている様子を眺め、別世界のような感じがしていました。それが、数年たった現在、まさか自分がその金網の中に入ってプレーしているとは……。そのときは、考えもつかなかったことです。

子供も大きくなり、もう一緒に山に登ることもないようになっています。ゴルフをしていてその場所に来ると、あのころそう思ったことが非常に懐かしく思い出され、また、時代の移り変わりの早さを感じる今日このごろです。

私の思い出 あの時この場所



写真上:上八枚の堤防から見た護摩堂山  
写真下:護摩堂山からゴルフ場を見る。  
子供たちは羽入田小学校の6年生

## 生涯学習、時代の習生

教育委員会社会教育課 佐藤 正則

前回までは生涯学習推進協議会で検討された、学習プログラムや有志指導者派遣制度を紹介しました。今回は地域づくり部会で検討された内容を紹介します。

### 地域づくりとは

人間がよりよく成長するために、よい地域が必要で、地域づくり部会では、地域づくりの考え方を次のようにまとめました。

- 一、個人が人間としてよりよく成長し、発展するための生涯学習の一環として取り組む
- 二、活動に当たっては、その地区の独自性を尊重する
- 三、自分たちの地域を自分たちの手でつくり上げていく自主的活動
- 四、一人ひとりが知恵と力を出し合うことで、豊かな人間関係を築き、よりよい地域づくりを進める

さらに、今後考えていくべき問題として次の四点をモデルとして設定することを検討しました。これは、各地区が地域づくりに取り



▲大通地区の地域づくりの一環として毎年行われている さいの神

### 教えることでなく 気付かせること

この地域づくりは、各地区ごとに設けられた推進連絡会議で検討し、その活動が具体化されます。既に何回かの会議が持たれ、地区によっては、次の世代に何を残せるかといった地域としての課題も検討されているようです。

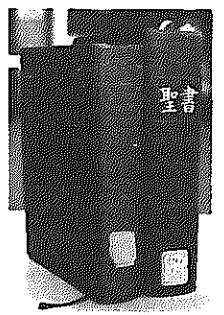
人間として大切なことは、教えただけではなかなか身に付かないものです。地域や人の輪の中で、自ら気付かせられる地域づくりを目指していきたいものです。

## 私の一冊 No.10 旧約聖書

渡辺幸子さん (庄瀬2・73歳)



旧約聖書にはこのほかに、士師記、ルツ記、エステル記、ダニエル記など、読むほどに深く考えさせられ、興味の尽きない諸書がある。西洋にあつては、聖書は常にベストセラーの第一と聞く。またむべなるかなと思う。



## 市立図書館新刊案内

市立図書館 ☎373-2810  
20世紀日本最後の選択(新井喜美夫) サッターム・フセインの挑戦(小山茂樹) 日本の消費者はなぜ怒らないのか(竹内直一) チャップラスカの証言(工藤美代子) 壊れたヨーロッパ(クルツイオ・マラパルテ) どのアメリカが怒っているのか(ジョエル・ガロー) そしてわが祖国(落合信彦) 父の中国と私の中国(小川平四郎) コメ自由化はおやめなさい(鯨岡辰馬) ほか多敷

## 原稿募集

▶私の思い出 あなたの心に残るあの時思い出をお寄せください ▶私の一冊 あなたの愛読書をご紹介ください ▶あて先 白根市役所広報広聴係(〒950-12 白根市大字白根1235・☎373-2111(333)) 皆さんのお便りをお待ちしています